

社会保障論Ⅱ	2年・後期	2単位	非常勤講師 一戸 真子
科目カテゴリー	看護の対象の理解	科目ナンバリング	32320452

1. 授業のねらい・概要

保健・医療・福祉・介護各制度および政策について講義する。公衆衛生行政の沿革および活動を理解し、看護師・保健師の役割について学修し、保健・医療・福祉・介護行政の理念と仕組みについても理解を深められるよう講義する。健康対策、各保健対策や疾病対策、公費負担医療制度、医療計画や政策医療、社会福祉や公的扶助などについても講義する。また、保健・医療・福祉・介護の連携による課題の解決、および法制度に基づく施策の立案や社会資源の管理・活用の重要性についても講義する。

2. 学修の到達目標

1. 保健・医療・福祉・介護各制度および政策について説明できる。
2. 公衆衛生行政について理解を深める。
3. 健康対策および各種疾病対策について説明できる。
4. 保健・医療・福祉・介護の連携による課題の解決や社会資源の管理・活用の重要性について理解する。

3. 授業の進め方

保健師に求められる、幅広い保健医療福祉介護に関する総合的な視野を身につけられるように工夫しながら進める。

4. 授業計画（講義）

1. 衛生の指標、人口動態	9. 公的扶助・公費負担医療
2. 衛生行政の沿革と活動	10. 次世代育成支援・健やか親子 21
3. 保健師・看護師の役割	11. 高齢者保健医療福祉介護の現状
4. 受療状況、医療費	12. 障害者保健福祉施策
5. 生活習慣病と健康増進対策	13. 精神保健医療福祉施策
6. がん対策、難病対策	14. 薬事被害と救済、薬事対策
7. 感染症対策、認知症対策	15. 労働安全衛生・学校保健
8. 医療計画、医療費	

5. 成績評価の方法・基準

小テスト 30%、期末試験 70%。

6. テキスト・参考文献

テキスト：厚生労働統計協会編、『国民衛生の動向』（1年次に購入したもの）
厚生労働統計協会編、『国民の福祉と介護の動向』、最新版
参考書：必要に応じて授業内に配布・紹介する。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

暗記事項が多いので、教科書の各単元の予習、復習の時間を各々単位ごとに確保して欲しい。これらの予習・復習の時間には2時間以上必要とする。

8. 受講上の留意事項

社会保障は範囲が広く、理解すべき内容も複雑であるので、社会保障論Ⅰの学修内容の復習も兼ねて受講して欲しい。

9. 課題に対するフィードバックの方法

試験内容については、提出後に解答などを提示する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

保健師課程の履修科目である。

11. 実務経験のある教員等による授業科目

該当する。本授業は、医療施設評価や福祉施設評価における実務経験を活かして指導する。